

独立行政法人国立長寿医療研究センター

理念: 高齢者の心と体の自立を促進し、健康長寿社会の構築に貢献する。

心の自立を
妨げる要因

認知症

基礎研究

認知症先進
医療開発センター
新薬の開発

臨床研究・技術開発

もの忘れセンター
年間1500例のデータベース
生活機能による早期発見
iPad心理検査入力
運動教室、学習教室

研修、啓発

サポート医研修
看護研修
家族教室
社会人研修
公民館出前研修

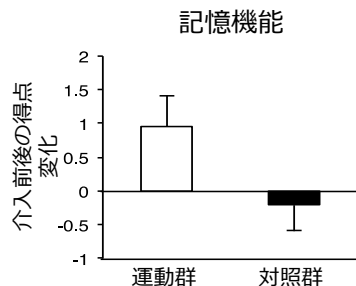
政策提言

プロジェクト会議
今後の認知症
医療政策に
大きく貢献

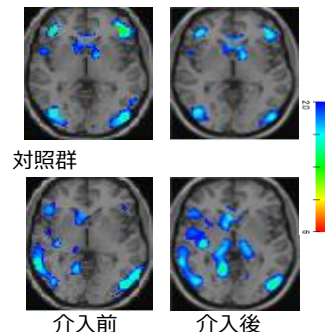
リード化合物

抗Aβ薬 (1件 出願)
抗タウ薬 (1件 出願)

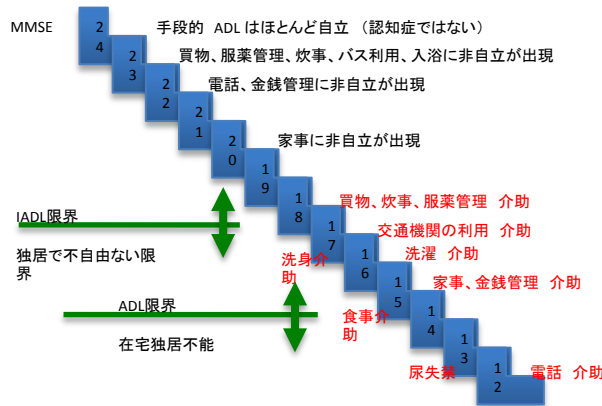
運動療法RCT
(記憶力、脳萎縮の改善)



運動群



1000例の包括的な解析結果
切れ目ない認知症の医療→ 認知症継続診療の提言

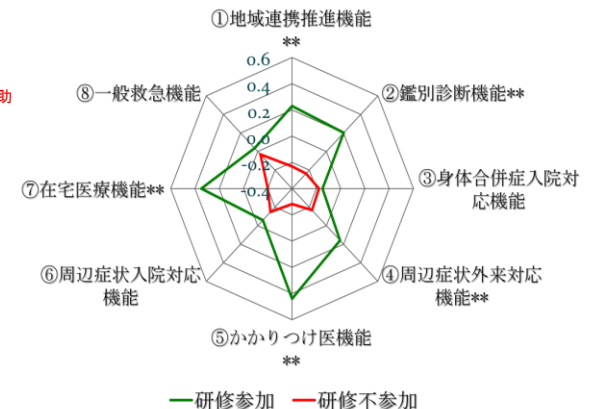
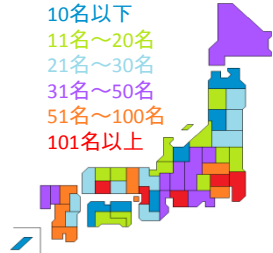


長寿

↓サポート医研修6/年
サポート医
(1700名)

↓
かかりつけ医対応力向上研修
(25000名) の対応能力第三者評価

10名以下
11名～20名
21名～30名
31名～50名
51名～100名
101名以上



センターの理念

高齢者の心と体の自立を促進し、健康長寿社会の構築に貢献する。

体の自立を
妨げる要因

基礎研究

臨床研究・技術開発

研修、啓発

政策提言

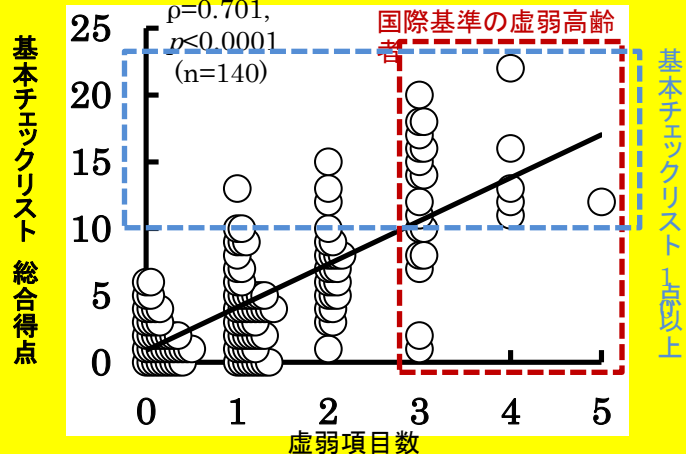
虚弱
寝たきり

老年学センター
介護予防

介護保険データ解析から、
世界ではじめて
一国の虚弱高齢者の
推計が可能に

生活不活発病
市民啓発活動
(震災被災地)
転倒予防公民館
出前研修

生活不活発病
予防マニュアル
の提供



公民館出前研修8カ所
1000人以上が聴講



足腰弱る 被災のお年寄り

■震災後に歩くのが難しくなった割合

	要介護 高齢者	非要介護 高齢者
仮設住宅（町内）	41人(49%)	181人(30%)
仮設住宅（町外）	14人(41%)	80人(29%)
一般住宅（直接被災地域）	43人(30%)	164人(19%)
一般住宅（非直接被災地域）	21人(23%)	107人(14%)
一般住宅（町外）	11人(34%)	40人(24%)

元氣だった人
南三陸町の3



CHS基準による虚弱診断（虚弱項目数 ≥ 3 ）に対する基本チェックリスト総合点のROC分析を行ったところ、9/10でのカットオフで、感度79.2%、特異度94.0%となった